

学術集会に参加登録していただいた方々へ

プレコンgress当日となりました。現時点で、予定通り開催することとしております。私の住む高崎市は、夜間は激しい雨が降り自宅のプールの水がオーバーフローする状態でしたが、朝の時点では小雨がパラつく程度になっております。交通状況は東日本には支障はありませんが、西日本の方々の多くが参加困難な状況と思います。

BEAMS については今後受講希望する方々が受けやすい環境づくりを学会としてさらに進めていくように、BEAMS 委員長の米山法子先生を中心に話し合いを進めていくこととなると思いますが、キャンセルポリシーについては学術集会終了後に今回の受講状況含めて学術集会側と学会側とで早急に共有・協議のうえで決定し、皆様にお伝えしたいと思います。

AHT 研究部シンポジウムにつきましては、例年、学術集会を東日本で行った際には西日本で、西日本で行った際には東日本で、同内容のシンポジウムを年度内に行ってまいりました。今回も、年度内に西日本でシンポジウムを企画し、決定次第、学術集会 HP にも案内をさせていただくつもりです。今回の学術集会のキャンセルポリシーについては、学術集会終了後にやはり学術集会側と学会側とで早急に決定し、皆様にお伝えさせていただきます。

事例検討会については今回限りとなりますが、各地で同様の検討会の機会を増やすべく、事例検証委員長の小西中郎先生を中心に話を進めていくこととなると思いますが、参加登録していただいた方の地元でもぜひこのような検討会を開催することをご検討していただきたいと思っておりますし、そのサポートを希望する場合には、私個人の意見ではありませんが、ご協力させていただきたいと考えております。今回の学術集会におけるキャンセルポリシーについては、やはり学術集会終了後に早急に決定し、連絡させていただきます。

明日からの学術集会についても、現時点では予定通り開催すべく、最終的な準備を進めております。まだまだ不確定要素も強く、皆様にご迷惑をおかけする点もあるかと思っておりますが、共に作り上げる学術集会にしたいと思っておりますので、なにとぞよろしく願いいたします。

講演・シンポジウムに関しては、ほとんどが予定通り実施可能と考えておりますが、一部のシンポジウムでは当初の予定と形を変える形で提供することとなるであろう点、ご了承ください。

一般演題につきましては、口頭発表については、現地登壇が困難な先生方の中には急遽動画作成をしていただける先生もいらっしゃいました。そちらを会場で流させていただき、演者の先生には ZOOM で参加していただき、質疑応答の際に会場の画面を ZOOM 画面に切り替えて対応させていただく形が取れないか、検討をしているところです。懸念していた Wifi 環境ですが、すべてのキャリアで会場の様々な場所で電波状況を確認し、最適条

件であれば上下ともに 20MB 出ることを確認しました。ライブ配信は困難で、途中途切れ途切れになる可能性はありますが、質疑応答の機会を何とか担保したいと思っております。ポスター発表につきましては、google form で質問を投稿できるようにし（ポスター横にそのための QR コードを用意）、演者からの回答がありましたらポスター横に掲示することを検討しております。（各演者の皆様には、詳細についてご連絡させていただきますので、どうぞその旨ご留意いただけましたら幸いです）。

いずれにしましても、皆様の物理的・心理的安全を第一優先にしながら、学術集会の運営をしていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします

第 15 回日本子ども虐待医学会学術集会
大会長 溝口史剛